



しあわせ
信州

ながの県リハだより

長野県立総合リハビリテーションセンター



所長あいさつ

所長 田丸 冬彦

昨年10月の台風第19号による浸水被害に際し、医療機関、関係機関、地域の皆様などから、多くの心温まるご支援、激励をいただきましたことに、深く感謝いたします。

発災時の入院患者と入所者の避難誘導は、長野県DMATを始め多くの皆様により速やかに行われ、人的被害を避けることができました。その際、地域や県内の医療機関におかれましては、入院と入所者の緊急避難を快く受け入れていただき、手厚い治療やご支援をいただきましたことに、改めて感謝を申し上げます。

また、当センターの医療機関、障がい者支援施設等の機能が停止してしまい、県民の皆様にご多大なご心配とご迷惑をおかけいたしました。被害を受けた建物の設備、医療機器等の復旧に取り組んでまいりました結果、このたび医療機関、障がい者支援施設等を再開することができました。職員一同、再出発したリハビリテーションセンターにおいて、心機一転頑張りたいと思いますので、今後とも皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

2020.5 第12号

※「障害」の表記について

この広報紙は、長野県の「『障害』表記のガイドライン」に沿って表記しています。

「障害」という用語が人の状態を表す場合は、原則として「障がい」と表記し、例外として医学用語等の専門用語や他の機関・団体の名称（固有名詞）等は、「障害」（例：高次脳機能障害）と表記。

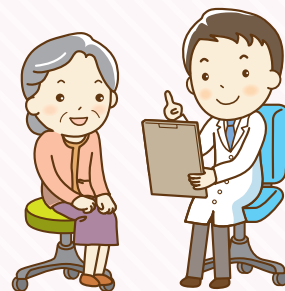
新しく生まれ変わる県リハ

外来・病棟

外来は、2階病棟を使って診療を仮再開してきましたが、3月2日から従来の管理医療棟1階で再開しました。床や廊下が明るい色合いになり、スタッフが笑顔でお迎えしています。

また1階病棟は、施設棟2階での仮再開を経て、3月30日に管理医療棟に戻って本格再開することができました。

環境や器材の再点検・更新を行い、より良く安全な看護を提供しようと看護職員一同はりきっています。



▲X線テレビ装置

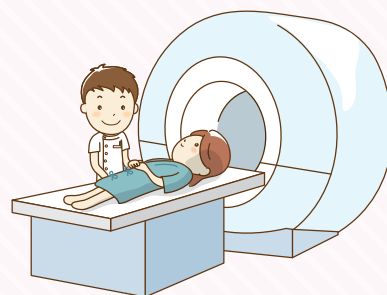


▲MRI装置

放射線技術科

1階にあった検査機器は全て浸水し大きな被害を受けましたが、一般撮影装置、CT装置、MRI装置、X線テレビ装置、骨密度装置はすべて新しいものに生まれ変わりました。建屋についても改修し、床、壁ともに一新されたので、従来以上に清潔で開放的な検査空間となっています。

なお、過去の検査データも残っていますので、現在との画像比較も今まで通り可能です。安心して検査をうけていただく環境がようやく整いました。



薬剤検査科

薬局と検査室の医療機器のほとんどは、浸水被害により使用できなくなりました。血液検査の機器や、医薬品を1包にする機器などについては、新たに購入したりして整備し業務を再開することができました。

また、今後今回のような浸水があっても、被害を最小限にするため、検査室は2階に移動し、業務を再開しています。



▲血液(生化学)自動分析装置



理学療法科

理学療法科では全ての訓練場所が膝位の高さまで浸水し、ほとんどの訓練機器が使えなくなっていました。訓練室の床は木材を使用していたため凸凹が生じてしまい、訓練ができる状態ではありませんでした。

11月11日の外来診療の再開から、管理医療棟3階の作業療法室の一部を使い、理学療法業務を行っていました。

2月に訓練室の床を全面的に張り直して、新しい訓練機器を揃え、3月5日から1階理学療法室で訓練を再開しました。

新たな気持ちで理学療法を提供していきます。



▲屋外歩行訓練場



▲理学療法室

義肢装具科

補装具製作棟も全面にわたり浸水し、機械の故障と停電により、補装具（失われた身体機能を補完又は代替するもの）の製作・修理が行えない状況となりました。

泥のかき出しや消毒等を行い、発電機による電源が確保された11月6日より業務を再開しております。

壁と床の復旧工事が終わり、以前よりも明るい環境となりましたので、皆様のご利用を心よりお待ち申し上げております。



▲義肢装具製作室

障がい者支援施設

1階の居室、食堂、大浴場等の生活棟と自動車運転訓練場が浸水被害を受けました。運転訓練のための教習車3台は使えなくなり、訓練もできなくなりました。

12月末に2階において施設機能を再開し、医療機関等に避難されていた方が戻られました。2月中旬には、1階の壁の工事、床暖房・ボイラーの修理、消毒等を終え、生活棟はきれいに生まれ変わりました。

3月までに御寄付いただいた2台を含め教習車3台が揃いましたので、これまでどおり運転訓練を行えるようになりました。入所・通所利用、短期入所利用の方をお待ちしています。



▲施設棟食堂



▲新車の教習車





センター復旧までの道すじ

令和元年10月12日～13日の東日本台風（台風第19号）により、当センターも浸水被害を受け、病院及び支援施設とも機能を停止せざるを得ない状況となりました。

被災後、様々な方のご支援をいただきながら、職員一丸となって、施設の復旧を図り、去る3月30日には病棟での入院患者の受け入れを再開することができ、ほとんどのセンター機能を回復することができました。

災害発生

10月13日早朝、千曲川堤防の決壊により、センターも床上浸水となり、入院・入所の皆さんには、周辺病院に転院いただくこととなりました。

復旧までの経過

2019年



10月16日

更生相談室の業務を再開

災害後3日で、身体障害者手帳の交付や補装具・更生医療に係る判定等を行う「更生相談室」の業務を再開しました。



11月6日

補装具製作施設の業務を再開

義肢装具士が、義手・義足・装具などの補装具の製作・修理業務を再開しました。



11月11日

外来診療の再開

災害後1カ月で、浸水被害のなかった2階病棟の病室を活用し、再来患者を中心に外来診療を再開しました。



12月28日

支援施設での受け入れ再開

令和元年の年も押し迫った12月28日、障がい者支援施設で入所者の受け入れを再開しました。

併せて施設の一部分を病棟として仮使用し、病院の入院も再開。災害で他の病院に転院していただいた患者、入所者の方にもセンターにお戻りいただきました。



▲浸水したセンター



▲会議室で更生相談室を再開



▲病室を活用した外来診療室



▲復旧した支援施設の生活棟

2020年

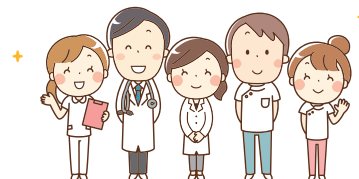
3月30日

病棟での入院患者の受け入れ再開 (センターの機能回復)



センターの設備、医療機械が災害前の状態までほぼ復旧することが出来、病棟での入院受入患者の受け入れを再開することができました。

リニューアルされたセンターで、職員一同、心機一転頑張っています。



▲再開した1階病棟



▲明るくなった外来入口・廊下

皆様からお寄せいただいた 救援物資等への御礼

台風第19号による当センターの被災に際しまして、企業、団体、センター利用者、地域の皆様等からたくさんの救援物資等をご寄付いただいたり、復旧に必要な機材などを迅速にお貸しいただきました。

お寄せいただきましたあたたかいお気持ちに対し、厚く御礼申し上げます。



●企業・団体等：45社・団体 ●個人：45組(延べ数)

【令和2年3月31日現在】

お寄せいただいた主な物資

飲料水・食品類、手ぬぐい・タオル類、ビニール手袋・軍手など、デッキブラシ等清掃用具類、サージカルマスク等衛生用品類、その他雑貨類など

お貸いただいた機材

発電機、投光器、ドラムリール、高圧洗浄機など



「外来での運転評価について」

脳の病気やけが（脳血管障害、脳の外傷等）の受傷後、運転が可能な状態かどうかの評価を、当センターの外来にて実施しています。



Q. どんな方が評価を受けられますか？

A. 脳の病気やけがの後、運転再開を希望する方で、主治医と相談した結果、運転に関する認知機能評価や実車評価が必要と判断された方です。

Q. 評価が必要と判断された場合は、どうしたらよいですか？

A. まず受診している医療機関のケースワーカー等に相談していただき、そこから当センターの地域医療福祉連携室に連絡していただきます。その後、主治医に紹介状を作成してもらい、外来受診をしていただきます。

Q. 評価にはどのくらいの時間、回数がかかりますか？

A. 概ね、医師の診察・検査が1時間、作業療法評価が2時間、実車評価が1時間位です。通常3回くらいに分けて実施し、全ての評価の終了後に医師の診察にてアドバイスがあります。

お問い合わせ先：地域医療福祉連携室

「障がい者支援施設での自動車訓練について」

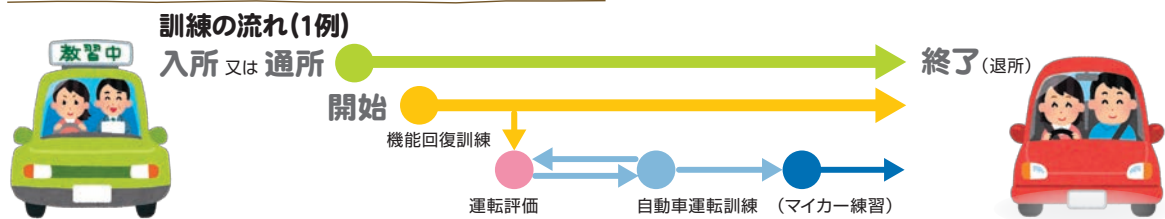
Q. どんな支援が受けられますか？ A. 評価・訓練・短期運転訓練 です。

評価とは 施設利用者、病院入院患者、外来受診患者の方を対象に、自動車の改造が必要か、訓練をした方が良いか、実車（教習車）とシミュレーターで検査をします。

訓練とは 免許をお持ちの方で、改造などに慣れる「運転習熟訓練」と、免許を取得するための「免許取得訓練」があります。機能回復訓練も併せて実施します。

短期運転訓練とは 「短期運転訓練」（Ar：不安解消）といい、3日間程度の運転に特化した訓練です。

Q. 訓練の期間はどのくらいですか？ A. 期間は、3か月～18か月 です。



Q. 自動車の改造は、どんなものがありますか？ A. 公安委員会の判断（免除条件）に基づき、左アクセルペダルなどの改造があります。

左アクセルペダル



手動アクセル・ブレーキ装置



手でアクセルとブレーキを操作します

バリアフリーパワーボード



車椅子からシートへの移乗が楽になります



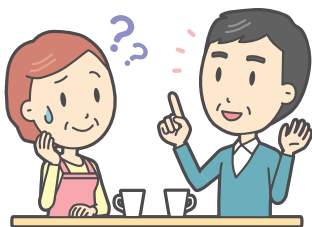
お問い合わせ先：地域医療福祉連携室・支援部支援課 自動車運転訓練科

報告
Report

高次脳機能障害研修会を開催しました

長野県では毎年、高次脳機能障害について理解を広げるための研修会を、県内4か所で開催しています。当センターは北信地域の研修会を担当しており、昨年度は令和2年2月1日に、長野市東部文化ホールにて開催し、高次脳機能障がいがある方やそのご家族、支援者を合わせ127名の方が参加されました。

今年の研修会では、前半は講演として、高次脳機能障害の基本的理解と対応～「困っている」行動へのサポートのヒント～」と題して、脳神経内科医の田丸所長から、高次脳機能障害の基礎知識、長野県での支援の広がりなどについて話をいたしました。その後作業療法科長から、「リハビリテーションによる回復」



について、公認心理師・臨床心理士から、「気持ち・行動の理解」について説明をいたしました。

講演の後は、ご本人とご家族にステージに



上がっていただき、「困っている」時の解決方法・対応～みなさんどうしていますか?～というタイトルで皆さんからご発言をいただきました。障がいそのものや支援について早い段階での説明が必要なことや、家族会などの悩みを話せる場があることで不安などが和らぎ、前に進んでいけていることなどをお聞きできました。

令和2年度も多くの方にご参加いただける研修会を企画していく予定です。

☆お問い合わせは、更生相談室までお願いします。

お知らせ

脊髄損傷学習会の開催について

当センターでは、入院、入所中の方、通院リハビリや外来受診中の方、またそのご家族などを対象として、「脊髄損傷学習会」を年4回開催しています。当センターの各専門職から、脊髄損傷の

方の社会復帰に参考となる、医療、看護、リハビリ、福祉関係のお話をさせていただいています。

今年度は、以下のような予定をしていますので、お気軽にご参加ください。

○令和2年度の予定

9月 「退院後の社会保障制度」(ケースワーカー)

12月 「脊髄損傷を知ろう
～注意すべき合併症とその管理～」
(整形外科医師)

3月 「排尿管理について」(看護師)



☆お問い合わせは、1階病棟看護師までお願いします。

新しい組織のご案内

地域医療福祉連携室が設置されました。

今年4月、当センター内に地域医療福祉連携室が新設されました。ここでは、医療機関からの転院等の相談、入院患者及び外来患者への医療福祉に係る相談、当センター施設部門（障がい者支援施設）への入所の相談、入所者の計画相談支援等を担当しています。職員は看護師、ソーシャルワーカー、相談支援専門員で構成されています。

お気軽にご相談ください。

◆電話番号：026-296-3953（代表） ◆FAX番号：026-296-3943



▲連携室のスタッフ

外来診療案内

令和2年4月現在

担当医師	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
脳神経内科・内科										
田丸 冬彦	○		○		○			○		
市川 貴規									○	
整形外科										
関節外科	清野 良文		○	○ 紹介状必要			○		○	第1・3
	上條 哲義		○	○ 紹介状必要			○		○	第2・4
脊髄外科	立岩 裕	○			○					
	木下 久敏				○ 第1・3・5					
麻酔科										
笠間 進		○							○	
泌尿器科										
井川 靖彦									○ 第2・4	

診療時間

午前 9:00 ~ 12:00
午後 1:00 ~ 4:00

◎外来診療は、**予約制**としています。予めお電話で予約をお願いします。

なお、脳神経内科・内科及び麻酔科の受診については、事前にご相談ください。

◎紹介状が無くても受診できますが、**火曜日の午後の診察**は、紹介状が必要になります。

◎清野医師の外来日に、**褥創外来**を実施します。事前にご相談ください。

電話による予約受付時間	月曜日～金曜日：午後1時～午後4時
連絡先	☎026-296-3953〈代表〉
備考	土・日・祝祭日は、予約受付を行っていません。

発行：長野県立総合リハビリテーションセンター

編集：広報紙委員会

住所：長野市下駒沢618-1

T E L：026-296-3953

F A X：026-296-3943

U R L：http://www.pref.nagano.lg.jp/rehabili/index.html

